

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成20年2月8日

## 【評価実施概要】

事業所番号	3771200304
法人名	有限会社お元気ですかショップ山下
事業所名	グループホーム青空
所在地	香川県小豆郡小豆島町西村甲2121-1 (電話) 0879-82-6368

評価機関名	社会福祉法人香川県社会福祉協議会		
所在地	香川県高松市番町一丁目10番35号		
訪問調査日	平成19年11月19日	評価決定日	平成20年2月8日

## 【情報提供票より】(19年10月1日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 17年4月1日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18人
職員数	16人	常勤	16人、非常勤 0人、常勤換算 6.3人

### (2) 建物概要

建物構造	軽量鉄筋造り
	2階建ての1階 ~ 2階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	東側44,500円 西側40,000円	その他の経費(月額)	12,000円+実費	
敷金	有( ) 円 (無)			
保証金の有無 (入居一時金含む)	(有) (100,000円) 無	有りの場合 償却の有無	有(無)	
食材料費	朝食	200円	昼食	350円
	夕食	450円	おやつ	100円
	または1日当たり 円			

### (4) 利用者の概要(10月1日現在)

利用者人数	18名	男性	7名	女性	11名
要介護1	4名	要介護2	4名		
要介護3	6名	要介護4	4名		
要介護5	0名	要支援2	0名		
年齢	平均 85.8歳	最低	70歳	最高	94歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	内海病院 アイデンタルクリニック
---------	------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

地域との暮らしを活かし、地域の行事に積極的に参加して、地域の協力のなかで地域に密着した支援がされている。ホーム内での利用者の表情もよく、安心してゆったりとした生活をされていることがわかる。ホーム内は過ごしやすい空間づくりを工夫しており、利用者とともに作成した作品、利用者の得意とする貼り絵や作品が展示されている。職員間の協力しあう姿勢も見受けられ、共に学びあい、利用者との関わりのなかで成長していこうとする姿勢が感じられる。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の改善点として、ケアプランの作成、緊急時の手当て、預かり金の報告、注意必要物品の保管があげられ、それについて、職員全員で取り組みを行い、改善がされている。家族と共にケアプランの作成を行うようにし、参加できない方への対応も丁寧に行われている。緊急時の手当ては、毎月の研修会や緊急時の訓練などで実施するようになり、預かり金については適時報告するようにし、注意必要物品の管理についても改善がなされている。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>外部評価の意義を職員全員が理解しており、前回の外部評価を活かすため、職員で改善策が練られている。その成果が、今回の自己評価に活かされている。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>2か月に1回、参加家族の予定にあわせて、地域包括支援センター、自治会、家族、本人、事業所が具体的な内容について話し合いがされている。地域に根付いたホームであることが、具体的内容の討議であることから分かり、運営推進会議が有効に活用されていることが分かる。</p>
重点項目③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>ケア計画の見直し時や家族会、運営推進会議、面会時に家族の意見や要望を聞き取るようにしている。利用者の要望や意見をホームの運営に活かし、質の向上に活かしている。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>地域の行事に参加、近隣への散歩、買物など、地域のなかで自然な形で生活がされている。地域とのつながりがよく、展覧会や運動会、敬老の行事に参加すると共に、地域の方からの野菜の提供などもあり、連携が十分に図られている。</p>

## 2. 評価結果(詳細)

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念は家訓として、事業所入り口やホームのホールに掲示されている。利用者は折に触れ、家訓を読んで理解を深めている。	○	家庭の中での理念としての「家訓」は利用者に浸透しているが、地域の中で暮らすためにどのように支えていくか、具体的に示した理念を追加されることが望まれる。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	家訓を利用者はよく読んでおり、その都度話題にしている。利用者との話題のなかで、職員間で理念について話し合いがもたれている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の清掃に参加したり、地域の方からも野菜をいただく等、よい関係が作られている。自治会の方々も、ホームの運営に対して協力的である。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の外部評価で危険な物品の保管や個々の手拭き等について、全職員が理解し、改善についての取り組みがなされている。外部評価の際にも、積極的に質の向上を図ろうとする姿勢が感じられる。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	自治会、家族、利用者、地域包括支援センターが、月2回、事業所内で会議を開催している。内容も具体的であり、事業所の質の向上に家族や地域も協力できている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営推進会議のほかにも、ホーム長が問い合わせし、アドバイスを受け、サービスの質の向上に取り組んでいる。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	「青空便り」、利用料の送付を行っている。定期的なホーム内での暮らしぶりは、便りをみると分かるようになっている。利用者の状況に変化が見られた際には、電話連絡を行っている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議は家族の予定を中心に日程調整を行い、意見や要望を伺えるようにしている。事業所入り口には意見箱を用意し、家族会などの際に意見を伺い、運営に活かしている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動は最小限にとどめているが、利用者が2階から1階に移動した際に、馴染みの職員がいたほうが望ましいとの考えから異動したことがあり、利用者の安心できる支援を行うための配慮がされている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	経験の多い職員の介護技術を見て学んだり、研修会に参加する等、さまざまな場面で職員育成に力を注いでいる。研修会は希望者に参加してもらうようにし、月1回の研修会のなかで、職員全員に周知するようにしている。また、経験年数に達すれば、資格は取得できるよう支援し、職員を育てていきたいとの考えがある。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同じ地域のグループホームや高松地区のグループホームとの交流がある。職員だけでなく利用者もともに参加し、交流を図ることができている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	慣れない環境で生活が一変するのではなく、以前から利用していた家具を持ってきてもらったり、面会を頻回に実施する等して、グループホームの生活に馴染めるようにしている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	経験の多い高齢者から学ぶことが多いと職員は理解しており、利用者の声に耳を傾けることができている。職員は、利用者とともに成長する関係ができている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	散歩や買物、地域との行事に、積極的に参加している。介護度の高い利用者も散歩にかけ、外出を好まない利用者には買物や通院などを利用して、外出のきっかけづくりをしている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	3か月に一度の見直しを行っている。利用者の状態に変化が見られたときには、随時変更をしている。また、家族と本人も参加してケア計画の作成をしている。家族の参加が得られない場合には、要望を伺い、ケアプランの説明をして、郵送するようにしている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護記録が数種類あり、全てパソコン入力されている。経過記録については、パソコン入力が効果的に活用されているが、介護記録は、排泄、処置の記録などがパソコンでの入力に対応できていない。	○	介護記録については、手書きで書き込みを行い、まとめて入力する形にすれば、健康状態の把握に努めやすいと思われるので、今後の取り組みに期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	事業所には、保育園児や地域の方々の慰問がある。定期的に音楽療法の訪問や知的障害者の清掃の就労支援などもあって事業所が学習や就労の場となっている。また運営推進会議も事業所内でおこなっており、地域の方々がグループホームを知るきっかけの場となっている。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	総合病院と歯科医院がかかりつけ医となっているが、本人の希望にあわせ、かかりつけ医以外の病院にも受診している。その際には、家族・職員がともに通院の援助をしている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	常に健康状態の把握を行っており、家族にも状況は報告している。今後の支援として、ターミナルケアを希望する方が多く、現在ターミナルケアについての同意書を作成中である。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者との関係の良さがうかがえるような親しみのある会話のなかに、一人ひとりにあわせた言葉かけをしていることがうかがえる。記録はパソコン入力で、持ち出しができないように工夫されており、個人情報の保護に努めている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	午前中はレクリエーションを予定されているが、参加せずに編み物をしたり、テレビを見る等、自分のペースで生活されている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	テーブルふきやテーブルクロスの準備、お茶の準備、片づけ、食器ふき等、一連の準備を職員とともにを行い、片づけをすることができている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	毎日3時ころより入浴を実施している。利用者は食事前に入浴をしたいという要望が多く、希望に沿う形で支援している。一番風呂を好む方や最後までよいという方については、誰もが希望できる時間帯に入浴するように配慮するだけでなく、不公平とならないように調整できている。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	食事の準備や片づけ、洗濯たたみ等の手伝いを行っている。貼り絵や編み物、絵画等の趣味や特技を活かした支援もなされている。夕食にはビール等も出され、購入も含めて、楽しみとなっている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	地域のイベントに出かけて行ったり、展覧会、運動、敬老の日の参加など、本人の要望に沿った支援をしている。墓参りや親類訪問などのふるさと訪問を行い、一人ひとりの希望に沿った楽しみづくりを行っている。		
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は鍵をかけていない。エスカレーターも自由に利用できる。廊下から階段へ降りるホールへの出入り口にはセンサーがついており、早期の確認ができるように工夫されている。夜間は、安全確保のために鍵を使用している。	○	包丁など、注意の必要な物品の保管は改善されていたが、洗剤の保管が手の届く位置にあったため、目の届かない場所に保管されることが望まれる。
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年に2回、消防署に来ていただき、避難訓練を実施している。近隣の集会場や観光施設が避難場所になっており、地域の協力もある。	○	年2回の避難訓練だけではなく、日ごろから避難場所までの誘導訓練や地震の避難訓練、2階からの避難練習をしていくことが望まれる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士がカロリー計算を行っている。また、減塩食は別メニューで対応している。糖尿病については、おやつで調整をしており、介護記録に食事が記載され、体調の変化に気づきやすいよう工夫されている。水分量も十分に取れているようだが、体調不良時には摂取量が分かることが望ましいので、今後の取り組みに期待したい。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホールにはテーブルとこたつがあり、畳の部屋も用意されている。家訓、スケジュール表、壁飾りなどが飾られ、レクリエーションで作られた作品もあり、居心地よい生活空間になっている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	備え付けのタンス以外は、馴染みのものを持ってきていただいている。ベッドやポータブルなども、本人の好みものを利用しており、本人らしい生活ができるよう工夫されている。		